循環型社会とは何か*

内藤正明**

What is Recycle Society?

Masaaki NAITO

なぜ循環型社会か

20世紀後半に加速された大量生産・消費社会は、自然にも社会にも様々な問題をもたらした。その最も明白な症状は、我が国では処分地の残余年数が各地で数年から十数年という深刻な状況に現れている。また世界的には資源の枯渇と環境負荷(特に最終的には二酸化炭素)が、地球環境を危機的な状況にしているといわれる。このような状況に対して、日本政府も2000年を循環社会元年と称し、国の大きな課題としている。しかしこれまでの試みは国内外を問わず、いずれも大きな困難に直面している。

ところで、循環型社会がしばしば持続可能社会とほぼ同義として用いられ、したがって地球環境問題の解決のためにも重要であるという文脈で語られる。しかし、これら三者の関係をどう理解するかについてはかなり難しい議論が必要である。ここでは、我が国でもっとも緊急の廃棄物問題を主対象に、循環型社会への変革を論じるが、それが結果として根底的な社会変革を促し、そのことがさらに結果的に地球環境問題の根源となっている大量消費の工業文明の転換につながるという論旨を設定する。

循環が図けない理由

「国際貿易による物質収支のアンバランス」… 循環が困難な最大の理由は輸入資源にある。大幅な物の入超の下で循環・再生した製品の行き場はない。これは「質量保存」の原理であり、技術の問題を超えている。

「再生財とバージン財の価格差」… 工業国の産業は低コストの輸入財を前提として設計されていて、そのままでは再生品利用が難しい。また再生品はコスト高で、質・量が不安定などで、市場メカニズムでの循環は難しい。

「排出側と利用側の乖離」… いまの産業・都市立地が循環を前提としていないため、回収・運搬で費用とエネルギーが必要となる。

「心理的な側面」… 豊かさの中で、廃棄物を再利用しようという意識は希薄である。また経済効率と利便性重視の中で、手間とコストがかかり、また危険で汚いとい

うイメージの再生過程は関心が持たれない。

循環が図き出すために

このように循環社会を実現すると言った時、グローバルな貿易構造や経済のあり方、産業・土地利用構造、さらには価値観までもトータルに変革することが不可避であることが理解されるだろう。そのためには、

「技術と社会システムの形成」… 関連セクターを結ぶ一つの完結した物の流れとして、社会システムをトータルとして計画・設計する必要がある。その際、需給バランス、地理特性等に応じて技術を組合せた地域最適システムの構築が重要である。

「全体収支の回復」… 全体の「物質収支」が循環の閉じた輪の中でバランスしていることが必要である。もし外部から流入してくれば、それと同量をどこから外部に取り出す方策がなければ、環のどこかに蓄積が起こる。また「経済収支」の取れていることが望ましいのは言うまでもないが、そもそも静脈系はこれまで経済システムの外として扱われてきたもので、まだ市場の中で成り立つ状況にはない。それを可能にするための条件を集約したのが図-1である。

「法制度の見直し」… 循環が想定されていなかった時代の制度を、循環型社会形成に資するように変革してゆく必要がある。今の循環関連法制度にはまだ多くの問題が残されている。

「価値観・倫理観・労働観の回復」… 循環が社会的に意義あることという倫理観によって、多大のコスト負担を皆で担おうという意識変革がすべての前提である。

循環型社会への発展

このような経緯を見ると、循環型社会とは単に狭義の“物の循環”ではなく、これまでの社会の在り方を、技術、社会の仕組み、さらには価値観や行動様式などのヒューマンウェアまでが一貫して変革した社会のことであり、またそれなくしては実現しないものであろう。ここでは、ほぼ一定量の物質が完結して回りつづけ、このシステム維持には外部から化石燃料エネルギーが大量に投入されないことが前提になっているので、少なくとも

* 平成 15 年 6 月 5 日 本会第 110 回例会において発表

** 所属先 (NPO) 循環共生社会システム研究所

平成 15 年 2 月 6 日受理

物とエネルギーに関しては持続性の必要条件を満たしていると言えよう（図・2）。

このような新たな持続可能社会のフィージビリティを探り、また人々にその具体の姿を提示するために、地域モデルを作る動きが世界各地で見られる。その基底

にあるのは、地球を有限の閉鎖系であるとした熱力学と生態学の原理に立ち、人が真に豊かに生活する自立的コミュニティこそが持続可能性を持つという理念である。そしてこれは都市・工業文明を補完する、“自然共生型文明”とでも呼ぶべきものの萌芽ではないかと思われる。

図-1 物の循環・新エネルギー成立の条件

図-2 循環システムを完成するために